

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍（新編 新しい保健体育）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活での経験や既習事項を基に、多様な学習活動を通して知識及び技能を習得することができるよう工夫がなされている。 ・ 「見つける→学習課題→課題の解決→広げる」で構成され、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫がなされている。 ・ 小学校や高等学校とのつながりや関連資料が示され、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指すことができる工夫がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の発達段階に応じて内容が学年別に配列され、見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。 (2) 4つのステップで構成されており、学習過程が明確になり、生徒の主体的・対話的な学びを支える工夫がなされている。 (3) 体育分野や他教科との関連が明記され、単元以外の学習との関連を深めることができるよう配慮がなされている。 (4) 口絵や章末資料、巻末スキルブックが掲載されており、学習内容の理解が深まるよう工夫されている。 (5) 位置を固定した定型デザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすさへの配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章扉に、その章の学習に関連する小学校及び高等学校の学習内容を明記し、学習の系統性を示す工夫がなされている。 (2) 日常経験などから自他の課題発見につなげる発問が設定され、主体的に課題解決に取り組む工夫がなされている。 (3) 学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けられ、さらなる学びへの意欲を喚起するよう工夫がなされている。 (4) キーワードの解説や章末問題が用意されており、生徒が繰り返し習得状況を確認することができるよう配慮されている。 (5) 生徒が写真や図表を手掛かりに、能動的に学んでいかれるように、文章教材と写真や図表が関連付けられている。 (6) 「課題の解決」や「学習のまとめ」が設けられており、まとめや評価の観点が明確になるように工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開き1ページが1単位時間、4ステップで構成され、学びの道筋が見られ、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫がなされている。 ・ 各章末に章末資料、巻末には巻末スキルブックが示され、学習したことを発展的に深めることができるよう工夫がなされている。

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">大日本図書（中学校保健体育）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学習内容において、キーワードで学習を振り返ることで、知識の定着を図ることができるよう工夫がなされている。 ・ 巻頭に「1時間の学習の主な流れ」や様々な学習活動を提示し、思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫がなされている。 ・ 3年間の保健体育の学習と自己実現とのつながりを示し、全体像を捉え、見通しをもって学ぶことができるよう工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1学年では、発達段階を考慮し、本文は、区切りのよいところで改行し、読みやすさへの配慮がなされている。 (2) 導入場面での端的な問いかけにより、身近な疑問から興味をもって学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 (3) 全ての本文・資料下部に「ミニ知識」が掲載され、学習内容と生活を関連付けて考えることができるよう配慮がなされている。 (4) 重要語句に脚注を付けることにより、重要語句の理解を深めることができるよう工夫がなされている。 (5) 青い帯で見出しと関連資料番号を表示し、学習内容と資料の関連を明確化し、学習意欲を喚起するよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章扉に、小学校・中学校・高等学校の学習内容が矢印で示され、系統が視覚的に理解しやすいよう工夫がなされている。 (2) 本文下に「リンク」が設けられ、単元相互や他教科との関連を図ることができるよう工夫がなされている。 (3) 「話し合ってみよう」のページが多く設けられ、対話的に学び、見方・考え方が広げられるよう工夫がなされている。 (4) 全ての本文左に「トピックス」が設けられ、学んだ知識を実生活と関連させて広げることができるよう配慮がなされている。 (5) 資料ページに薄いベージュの地色を敷いて、本文と資料を明確に区別して見ることができるよう工夫がなされている。 (6) 章末の「学びを活かそう」では、身に付けた知識を日常生活に活用して学びを深められるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての学習内容で、本文と資料が左右に分けて示され、学習内容を整理しながら学ぶことができるよう工夫がなされている。 ・ 豊富な口絵により、生徒の興味・関心を引き出し、主体的に学習が進められるよう工夫がなされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>大修館書店（最新 中学校保健体育）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容と生活を関連付けて考え、三つの学習活動を通して、知識及び技能の定着を図ることができるよう工夫がなされている。 ・ 学習した知識を基に自分の考えを表現したり他者と交流したりし、思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫がなされている。 ・ 小・中・高の学習内容を明記し、見通しや興味・関心をもって学習を進めていくことができるよう工夫がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き1ページに、1時間分の内容がまとめられており、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。 (2) 学びを広げたり、深めたりするために特集資料を設け、主体的・対話的な学びができるよう工夫がなされている。 (3) 各教科とのつながりを明記し、授業導入時に確認して学習が始められるよう配慮がなされている。 (4) 本文に出てくる言葉などを詳しく解説するコーナーを設け、学習内容の理解が深まるように工夫がなされている。 (5) 導入の発問や資料を罫線で囲んだり、色覚の特性に対応した図やグラフを採用したりするなどの配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全ての章扉に小学校及び高等学校の学習内容が明記され、学習内容の系統化が図られるよう工夫がなされている。 (2) 導入で、既習の体育実技や各教科での学びとの関連を捉えられるよう工夫がなされている。 (3) 学習内容を深めるための様々な方法を明記し、学習内容の特徴に合わせた活動の工夫がなされている。 (4) 日常生活の見直しや理解の定着が図られるよう特集資料や章末問題を掲載するなど配慮がなされている。 (5) さし絵、写真、図表を基に自分の生活をイメージしたり、社会との関わりを考えたりできるよう工夫がなされている。 (6) 章末には3観点の問題を設け、理解の定着の確認や振り返りができ、評価の観点が明確になるよう工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭、巻末資料や特集資料を設け、学習内容を広げたり、深めたりすることができるよう工夫がなされている。 ・ 各学習内容が3ステップで構成されており、主体的に学習が進められるよう工夫がなされている。

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">Gakken（新・中学保健体育）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時間の最後に、実践的な課題に取り組むことを通して知識及び技能の習得を深める工夫がなされている。 ・ 工夫された考える課題を用いて対話的に学びを進め、思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫がなされている。 ・ 興味・関心を高めるための導入の発問で、主体的な学びを生み出す工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 写真や図とデザインで、保健体育の学び全体への興味・関心を高めるように配慮がなされている。 (2) 各章末の「探究しようよ」によって、興味・関心に応じ、課題を解決する学習ができるよう工夫がなされている。 (3) 身の回りにある様々な課題を取り上げ、他分野や生活等と関連付けて学習できるように配慮がなされている。 (4) 見出しに簡単な言葉で吹き出しを入れ、課題が明確になるように工夫がなされている。 (5) ユニバーサルデザインフォントの使用、配置の工夫、色数を減らしたグラフや図等読みやすいように配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章の扉で学習内容の系統性を確かめ、学びのイメージがもてるよう工夫がなされている。 (2) 興味・関心に応じてキーワードごとに体育実技や各教科との関連を捉えられるよう工夫がなされている。 (3) 様々な学習方法や課題学習の整理の仕方が示されていて、「学び方を学べる」よう工夫がなされている。 (4) 章のまとめには、キーワードとページ番号が記載されており、知識の定着が確認できるよう配慮がなされている。 (5) 多くの写真に具体的な年代が記載されており、歴史的な内容と最新の内容を比較することができるよう工夫がなされている。 (6) 1時間の取組の振り返りや「章のまとめ」での観点別の振り返りにおいて、評価の観点の明確化への工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の導入で興味・関心を高め、終末に実践的な課題に取り組む一連の流れが、主体的な学びとなるように工夫がなされている。 ・ 共に考え、よりよい解決に向かう、工夫された課題や共に学び、教え合う活動など協働的な学びへ導く工夫がなされている。